



▲幌別西小学校開校50周年を祝おうとPTAが企画した『Nonさんふれあいコンサート』



▲手作りの事業を企画・運営するPTA役員のみなさん（幌別西小学校）

▼教材園の土おこしなど、環境の整備におやじの会が活躍（幌別西小学校）



◀おやじの会の連携を図ろうと開催された『胆振おやじサミット』



吉田 武保さん

「家庭では、子の教育を母親任せにしている父親が多いでしょう。でも、みなさん、気軽に参加できる機会があれば、子どもたちのために何かしたいと感じているようです」と話すのは、幌別中学校区おやじの会会長で、胆振管内24校の関係者が集い、市内で開催された『胆振おやじサミット』の実行委員長を務められた吉田武保さん。

子どもの教育に父親の関わりが求められています

みなさんは、PTA会員の父親を中心に組織する『おやじの会』をご存知ですか。

現在、市内の4校におやじの会があり、PTA事業や学校環境の整備などに活躍しています。この10月には胆振管内23校の関係者が集い、市内で『胆振おやじサミット』（同実行委員会主催）が開催されました。

すね。学校での子どもの姿を直に見、そして、子どもたちや教師、父母のみなさんとの交流や情報の交換を積極的に行っていたみたいです。きっと、学校への理解が深まり、我が子に対する見方や接し方にもたくさん学ぶことがあるはずですよ」。



小坂 博宣さん

「会に参加し、父親同士が交流する中で、学校での我が子の姿に驚かれたり、父親としての役割を改めて認識されたりすることも多いようです。また、子どものことや学校のことを夫婦で一緒に考えて、話し合う機会が増えたという声も聞かれます。今、青少年の問題は、母親任せでは解決が難しくなっています。PTA活動への関わりや子どもたちの教育問題に父親も主体的に関わることが求められる時代が来ているのではないのでしょうか」。

参加して楽しいPTA活動をみんなで作えましょう

今年、開校50周年を迎えた幌別西小学校。同校PTAでは、地域のみなさんになるべく金銭的な負担を掛けずにこれを祝おうと、心のこもった手作りの記念事業を行いました。

「たくさんのお父さんと教師のみなさんが忙しい合間を縫って打ち合わせを行い、事業の企画・運営に当たりました。みなさん一緒に頑張って苦勞された分、達成感もひとしお。会員のつながりや学校への理解も深まったように思います」と記念事業を振り返るのは、幌別西小学校PTA会長の小坂博宣さん。

「PTA活動に参加することの責任や負担など、マイナス面が意識されがち。共に企画・運営する喜びが忘れられてはいないでしょうか。私は会員みんなが広く負担を分かち合い、交流の機会を増やしたり、参加しやすいように事業のかたちを工夫したりすることで、もっと活動が盛んになると思います。みなさんで、社会や家庭環境の変化に合った、従来の形式や考え方にとらわれない柔軟な発想を出し合い、子どもたちとともに、会員も楽しめるPTA活動を見いだしていくことが必要ではないでしょうか」。

PTA活動を通して、新たな自分と出会う

私がPTA活動へ関心を深めたのは、下の子どもが幼稚園に通い始めてからで、義務感のような気持ちで役員を引き受けたのがきっかけでした。

しかし、父母や教師のみなさんと交流し、事業を進める連帯感や達成感を分かち合う中で、いつの間にか義務感が楽しさに変わっていました。また、自らの視野も広がって、子どもたちへの接し方や考え方も変化し、学校への理解も深まったように思います。

役員を務めることなど、PTA活動に深く関わることを「忙しそう」とか「大変そう」とか、思われる方も多いと思いますが、積極的に参加してみたいかがでしょうか。きっと私のように楽しさや、今まで気づかなかった自分と出会えるかも知れません。